（別紙4（2））

事業所名　グループホームあかり（各務原苑）

作成日：　令和 5年 3 月 31日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	13	人材不足が続く中、職員がなかなか定着しない。 職場環境を見直し、意欲的に、長く働ける職場をめざす。	＊新しくスタッフを迎え入れた時、十分なサポート体制を整え、安心して仕事を覚えてもらおう。 ＊新しいスタッフも現在働いているスタッフもやり甲斐が感じられ、意欲を持って仕事に取り組める職場を目指そう。 ＊自己啓発に努めお互いに高め合おう。	＊新人スタッフにはいつでもサポート出来る体制を整える。 ・エルダー制度を導入し継続的にサポートする。 ・現職員、新人職員の研修と定期的な勉強会の継続（自社研修システムの利用も含む） ・一緒に働いている職員全員が必要に応じて新人職員をサポートする。	12ヶ月
2	23	コロナ禍で外出を控える中、利用者様とは屋内での関わりが殆どになってきている。一斉のレクリエーションや体操で利用者様と関わっているがマンネリ化しているのも現状で、1人1人の状態に合わせた関わりの時間を増やしていけると良いのではないか。	一斉のレクリエーションや体操の時間以外に、一日のうちの短時間でよいので、スタッフが利用者様と1対1で関わってみよう。（一日に全員出来なくてもよい）マンネリ化したレクや体操以外で、お一人お一人に合わせた関わり方を考えてみよう。関わりの時間を増やそう。	利用者様に合わせた関わりの内容を考える。 スタッフがそれぞれ、一日1回は利用者様と向き合い関わり、それを記録していく。 月1回の会議で良かった点などを報告し共有する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注）項目の欄については、自己評価項目の№を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。